

地域の実情と課題

本市意識調査によると、女性の就業率は35～39歳が特に低く、全国値より深いM字を描いている。また、非正規雇用の割合が高く、かつ就業希望職種に偏りが見られることから、デジタルや理工系分野に選択肢が広げられるような学びの機会を提供し、柔軟な働き方に対応できる人材を育成することが必要である。

事業の特徴

1 課題に対応した事業を実施

社会参画意欲を高めるリカレント教育、多様な働き方を可能にするデジタル人材育成をコアに、女性が個々の希望に沿った活躍をするための機会提供を行った。

2 官民連携体制の構築

(1) 地元大学等：講師派遣、アドバイス

(2) 民間事業者：講師派遣、情報提供、職場見学協力

事業の効果

1 事業KPI: 講座参加者数 100人(実績: 延べ108人)

自身のライフイベントを加味した前向きな学びへの興味関心を高めることが出来た。また、情報提供により、個々に合わせた就業機会の拡充を図ることが出来た。

2 講座受講の満足度 (94.5%)

受講後アンケート調査によると、学びの継続意欲の高まりをうかがえる記載が多く見られた。

目的・目標

○就業への資質向上、能力開発機会の充実

○希望する職種への就業機会の拡充

【目標】

- 1 仕事をしない理由が「仕事と家庭の両立困難」をあげる50歳未満の女性の割合(20%) (R7年度調査予定)
- 2 講座受講者数(100人) (R5実績: 108人)

連携団体

1 茨城大学、日立公共職業安定所、内閣府

講座講師選考協力、情報提供

2 ケーブルテレビJWAY、日立商工会議所

事業実施に関する広報協力

3 日立商工会議所、日立市各種女性団体連絡会、ひたち若者かがやき会議 ほか

事業企画に関するアンケート調査への協力

今後の課題

1 学びの先に、具体的な就業がイメージできるようなルートを、産学官連携でつくる。

2 フルタイムにこだわらず、資格取得や個人の経験を生かしながら、満足度高くかつ向上心を持って仕事をする女性のモデルを増やす。

3 自身の優位性が見える化したり、成功体験を積むような機会を増やし、就業意欲の継続を図る。



女性の就業支援事業

新しい働き方への可能性を広げるための各種人材育成講座の開催

①(新)リカレント教育実施体制構築

概要:アドバイザーとの体制構築及び企画調整。プレ講座の実施。ほか
講座実施回数 : 2回連続講座 参加者数:延べ37人

②(新)日立版リコチャレロールモデル講座

概要:市内小中学生を対象に、理工系分野の仕事に係る体験講座を実施。
講座実施回数 : 1回講座 参加者数:8人

③(拡充)ねむっているスキルを生かす講座

概要:既存スキルの気づきを促す講座。コーディネーターによる就業支援。
講座実施回数 : 3回連続講座 参加者数:延べ17人

④(拡充)女性デジタル人材育成講座

概要:就業に直結するプログラミング講座。職場見学会の実施。
講座実施回数 : 5回連続講座 参加者数:延べ46人

①リカレント教育



②日立版リコチャレ



③ねむってるスキル



④女性デジタル人材



各種事業との連携



【連携先】

地元大学、日立公共職業安定所、日立商工会議所 ほか

資格を手に入れる講座

- ① ファイナンシャル・プランナー
- ② 認知症ライフパートナー検定試験
- ③ MOS検定Excel365&2019
- ④ TOEIC®L&Rテスト対策

女性センター指定管理者

日立市らぼーる協会提供事業

女性人材育成講座

女性を対象とした資質向上につながる講座や研修会を開催

- ① 1day女性カレッジ
- ② ロールモデル講座

<女性の社会参画がすすむと...>

女性の就業専門資格取得補助

女性のステップアップを支援

出産・育児

一度離職すると再就職が難しい

資格取得

保育士、宅地建物取引士等就職に直結する資格取得

再就職

経済的自立

教習・受験費用の50%補助(限度額10万円)

様々な制約を持つ女性が社会に加わることで、新たな視点や発想が加わり、多様な人材が活躍できる働き方が生まれる